

3. 発達障害、適応障害への支援

① 支援体制

鳥井・発達障害や適応障害等で生活上の困難な状況にある方とその家族は、市内にどの程度いるのか。また、どのようなサポートを受けているのか。

当局・発達障害や適応障害の方の人数につきましては、障害の程度が様々で、障がい者手帳を持たない方もいるため、実数の把握は難しい状況だが、精神科受給者は発達障害の方で140名、適応障害の方で10名です。支援についても就労移行支援や就労継続支援・居宅介護や短期入所などのサービスを利用している。障がい者の通院時の医療費助成の手帳を持つていなくても利用可能)

② 企業との連携

鳥井・発達障害や適応障害を持つ方でも条件が合えば就業可能な方は多いと考えられるが、本市として企業とのマッチング等を支援すべきではないか。相談窓口が必要となる。(社)栃木県若年者支援機構の協力で毎月1回、生涯学習センターにおいて産業カウンセラーによる相談窓口を開設している。

2050年CO₂排出実質ゼロ 表明自治体

2022年1月31日現在

*534自治体

40都道府県 319市
15特別区 160町村

*栃木県及び市町村

栃木県 宇都宮市 鹿沼市
日光市 那須塩原市
大田原市 那須烏山市
那須町 那珂川町



当局・発達障害や適応障害を持つ方の特性を把握した上で日常生活を含めた相談窓口が必要となる。(社)栃木県若年者支援機構の協力で毎月1回、生涯学習センターにおいて産業カウンセラーによる相談窓口を開設している。

おぜき・児童福祉法では市町村は乳児、幼児その他の児童について保育を必要とする場合、当該児童を保育所において保育しなければならないとしているが本市においても地域に必要な保育を確保する考えはあるか。

2. 子育て環境の整備について

① 保育の質を高める

当局・第3次環境基本計画の中で市民と行政が一同に目指す考えはあるのか。

おぜき・全国で2050年までにCO₂排出ゼロを目指した自治体は、40都道府県、268市、10特別区126町村(R3年8月31日現在)。足利市も市民とともに目標を達成できるように取り組む。

おぜき・児童福祉法では市町村は乳児、幼児その他の児童について保育を必要とする場合、当該児童を保育所において保育しなければならないとしているが本市においても地域に必要な保育を確保する考えはあるか。



2022年賀詞交歓会にて

お困りごとはありませんか?

お気軽にお声掛けをお願いします。
ワクチン接種予約もお手伝いします。

連絡先

日本共産党市議団

おぜき栄子 090-8004-0577

鳥井やすこ 090-1690-5106

おぜき栄子の一般質問

1. 環境基本計画

おぜき・第3次環境基本計画(R3年10月)において、地球温暖化対策推進法で2050年カーボンニュートラル宣言が規定されたことから今後、より一層地球温暖化対策に取り組むことが重要である」とされているが具体的にどのような進め方をとっているか。

市長・省エネエネルギー対策再生可能エネルギーの利用普及促進による脱炭素社会の実現、3R(ごみ削減、再利用、資源化)の推進で着実に実施。

おぜき・同計画策定の課題として、本市の一人一日当たりの燃やせるごみの量は国及び県の平均値よりも多くなる減量化と分別・リサイクルに重点的に取り組む必要があるとしているが、市民及び事業者と今後どのように進めていくのか。

おぜき・同計画の脱炭素社会の実現で、生活路線バス利用者数の目標値(19万300人実績)を18万人にした理由はなにか。

市長・ヨコナ禍前と比較すると約7割利用。国の調査も同様の傾向で厳しい状況とある見通しとなるので目標値を18万人とした。



おぜき・原油価格の高騰は市民生活に影響を与えており、生活保護受給者を含む低所得者へ灯油購入費を助成する福祉灯油(特別交付税1/2負担)を実施すべきではないか。

当局・今後の原油価格の動向、本市の気候状況とともに近隣市の状況も勘案し研究する。

おぜき・当市は、子育て支援の要として公立保育所に力を入れてきた。今後も力を入れることが求められるが、子どもたちに何ができるか保育の質を高めていくためにはどうするかしつかり議論したい。

市長・公立がいい、民間がいいという議論ではなく、子どもたちに何ができるか保育の質を高めていくためにはどうするかしつかり議論したい。

2. ごみの減量を積極的に働きかけよ!

おぜき・同計画策定の課題として、本市の一人一日当たりの燃やせるごみの量は国及び県の平均値よりも多くなる減量化と分別・リサイクルに重点的に取り組む必要があるとしているが、市民及び事業者と今後どのように進めていくのか。

おぜき・同計画の脱炭素社会の実現で、生活路線バス利用者数の目標値(19万300人実績)を18万人にした理由はなにか。

市長・ヨコナ禍前と比較すると約7割利用。国の調査も同様の傾向で厳しい状況とある見通しとなるので目標値を18万人とした。



おぜき・原油価格の高騰は市民生活に影響を与えており、生活保護受給者を含む低所得者へ灯油購入費を助成する福祉灯油(特別交付税1/2負担)を実施すべきではないか。

当局・今後の原油価格の動向、本市の気候状況とともに近隣市の状況も勘案し研究する。

おぜき・当市は、子育て支援の要として公立保育所に力を入れてきた。今後も力を入れることが求められるが、子どもたちに何ができるか保育の質を高めていくためにはどうするかしつかり議論したい。

市長・公立がいい、民間がいいという議論ではなく、子どもたちに何ができるか保育の質を高めていくためにはどうするかしつかり議論したい。

おぜき・当市は、子育て支援